

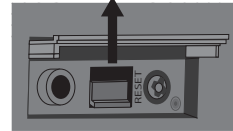
フラット発信機 / 1MM1W-01・2MM1W-01

- お買い上げありがとうございます。
- 安全に施工・ご使用いただくため、必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、正しくお使いください。
- 施工には、消防設備士（甲種第4類）の資格が必要です。
- 施工後はお客様へ取扱方法をご説明いただき、本取扱説明書を必ずお渡しください。
- 万一、本取扱説明書に従わず施工された場合は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 火災などによる損害については責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品はIPX3相当に対応しています。
※IPX3の性能：ボックス内部に浸水した場合、水が内部に溜まらずに排水され、機能に影響をおよぼしません。

- ②火災鎮火後、保護板を戻し、通常の状態にします。
保護板が戻ると、応答確認灯（赤）※が消灯します。



①復旧スイッチカバーを開ける



②復旧スイッチを↑の方向へ押し上げる

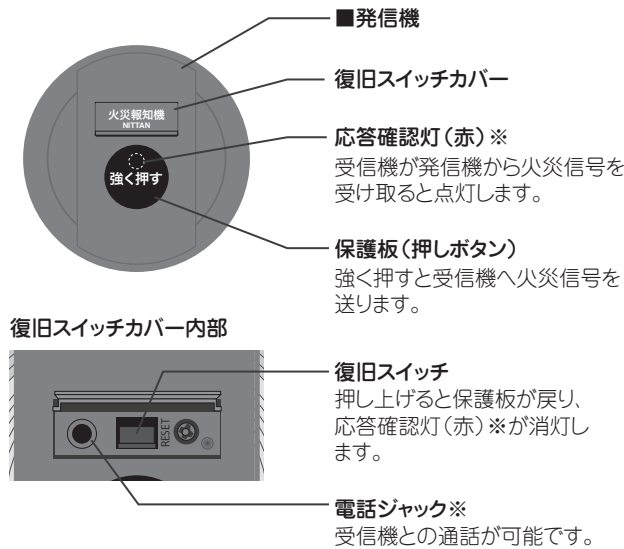
③保護板が戻った事を確認し、復旧スイッチカバーを閉める。

※P型1級発信機のみ

1.安全上のご注意

 警告	 注意
取り扱いを誤った場合に、取り扱い関係者が死亡または重傷を負う可能性がある場合、または機器に重大な悪影響を及ぼす可能性がある場合。	取り扱いを誤った場合に、取り扱い関係者が軽傷を負うか物的損害が生じる可能性がある場合、または機器に悪影響を及ぼす可能性がある場合。
 禁止	 必ず守る
行為の禁止。	行為の強制、および指示。

2.各部の名称



復旧スイッチカバー内部

※P型1級発信機のみ

4.お手入れ方法

表面が汚れた場合は、水、または中性洗剤を薄めた液に浸して十分に絞った布で汚れを拭き取ってください。

! 注意

- アルコール・シンナー・ベンジンなどの有機溶剤や薬品を使用しない。印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 表面を強くこすらない。傷がつく場合があります。汚れは柔らかい布で拭き取ってください。

5.異常の場合

下記の対処を行っても改善されない場合は、施工店または点検契約先にお問い合わせください。

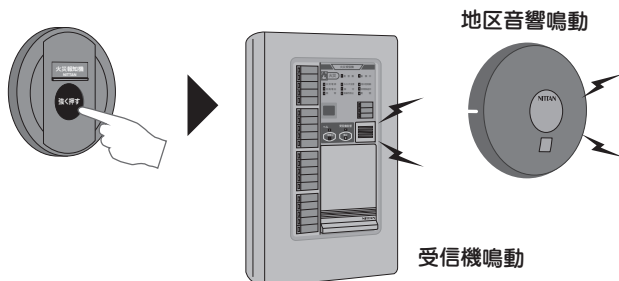
状態	原因	対処
火災ではないのに火災発報する。	保護板が押されたままになっている。	復旧操作をする。「3.火災の場合」②参照。

! 警告

- 異常のまま放置しない。火災時に警報が出ないため、避難・初期消火が大幅に遅れる可能性があり、大変危険です。

3.火災の場合

- ①保護板を強く押す。
火災信号を受信機へ送信し、応答確認灯（赤）※が点灯します。



6.仕様

	P型1級発信機 / 1MM1W	P型2級発信機 / 2MM1W
検定型式番号	発第29～1号	発第29～2号
製品記号	1MM1W-01	2MM1W-01
接点容量	DC30V, 250mA	
保護等級	IPX3 相当	
使用環境温度	-20℃～+70℃	
質量	245g	
適合受信機	1PM・1PV・1PS・1PZシリーズ	2PK・2PF・2P1Lシリーズ
	※上記以外の受信機は弊社にお問い合わせください	

7. 施工上のご注意

警告

- 受信機の電源(AC100V)を遮断、および電池を外して施工する。
活線工事は感電・故障の原因になります。
- 電線は確実に差し込む。
差し込みが不十分な場合、動作不良となるおそれがあります。
- 製品の分解・改造は絶対にしない。
故障の原因になります。

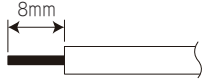


必ず守る

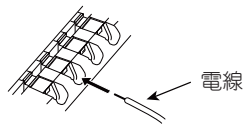
- 電線は必ずφ0.9～φ1.2の単線を使用する。
- 電線の接続は圧着スリーブなどで行い、絶縁処理する。
- 電線の芯線が露出していない事を確認する。
- 推奨する接続受信機以外の接続については、お問い合わせください。

電線の接続方法

- ①発信機裏面記載のストリップゲージに合わせて電線被覆を8mm剥く。

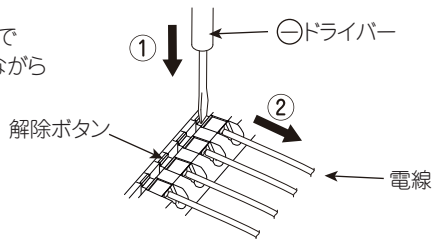


- ②電線を1本ずつ奥までしっかりと差し込む。



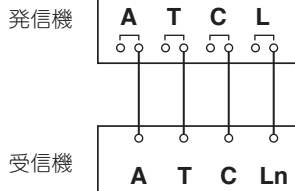
電線の取り外し方法

- ①マイナスドライバーで解除ボタンを押しながら
- ②電線を引き抜く。

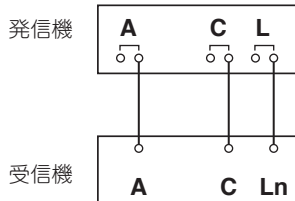


結線図

・P型1級発信機



・P型2級発信機



8. 配線後の確認方法

■受信機に接続後、機能が正常であるか、次の事を確認してください。

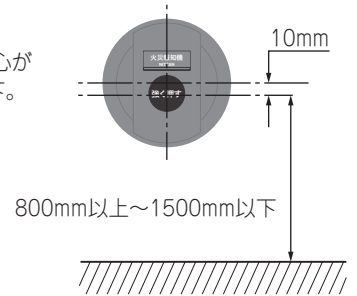
- ①受信機が正常監視状態である。
- ②発信機の保護板を押して、受信機の発信機灯、地区表示灯、火災代表灯が点灯する。(2級受信機は地区表示灯の点灯のみ)
- ③発信機の応答確認灯が点灯する。
- ④発信機の復旧スイッチカバーを開けて、復旧スイッチを押上げると、保護板が正常位置に戻る。
- ⑤発信機の応答確認灯が消灯する。
- ⑥受信機の復旧ボタンを押して、監視状態に戻す。
- ⑦発信機の電話ジャックに送受話器のプラグを差し込むと受信機の電話音響が鳴動する。
- ⑧⑦の状態を受信機の電話ジャックに送受話器のプラグを差し込むと、発信機と受信機で通話ができる。

※③⑤⑦⑧はP型1級発信機のみ

9. 取付方法

■取付位置

発信機の保護板(押しボタン)の中心が床から800mm以上～1500mm以下。



(注意)

発信機の中心から保護板(押しボタン)の中心までは10mmあります。



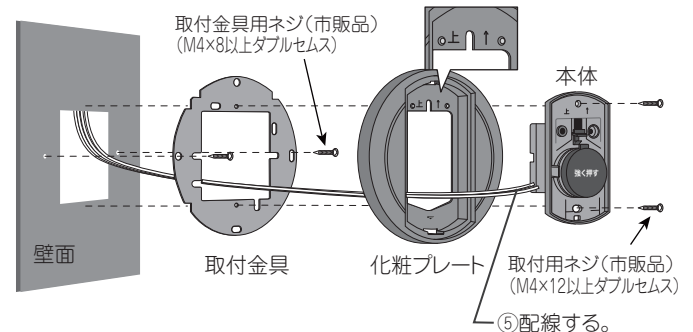
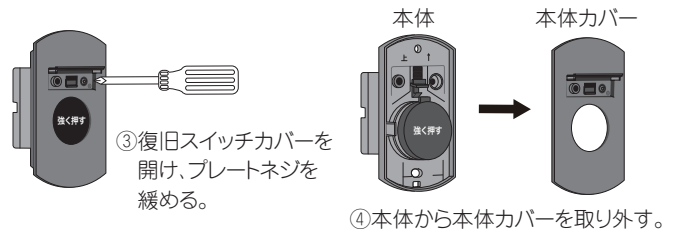
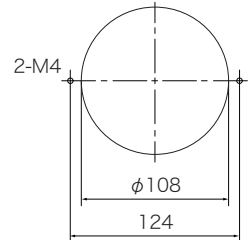
必ず守る

- 発信機本体や化粧プレートの「上↑」マークを確認し、取付向きを間違えないように取り付ける。
- 取付面との隙間がなく、水平に取り付けられている事を確認する。

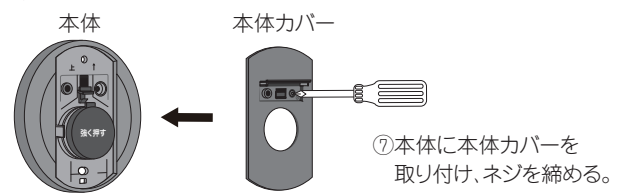
- ①取付位置を決める。

- ②壁面に穴加工する。

穴加工図



- ⑦本体に本体カバーを取り付け、ネジを締める。



10. 同梱品

- ・フラット発信機 (本体・本体カバー・プレートネジ付)
- ・化粧プレート
- ・取付金具



※本体取付用ネジおよび取付金具固定用ネジは同梱しておりませんのでご注意ください。

11. お問い合わせ先

本社 〒151-8535 東京都渋谷区笹塚1-54-5
TEL. 03-5333-8601(代)

ニッタン株式会社